



株式会社芝田技研

社長

芝 吉治郎 氏

風量測定装置の開発・製造など、
風量計測に特化した事業を手がける。

「データ実測・製品改良に成果」

製品の有用性を確認し、新たな市場を開拓するためにも、実際に風量測定ができるテストフィールドの開拓が課題でした。取引金融機関である大東京信用組合に相談したところ、東商の産学公連携相談窓口を紹介してもらって問い合わせ、東京電機大学との連携がスタートしました。鳥海先生の紹介を通じて、オフィスビルの執務室や高速道路のサービスエリアのトイレで自社の測定装置を使用し、換気量の実測調査を実施。製品のブラッシュアップや市場開拓に役立つ貴重なデータが得られました。また、装置を使ってもらった研究室の学生から「きちんと測定できているか見えた方が良い」という声を受けてフードを透明にするなど、製品改良にもつながりました。



東京電機大学 理工学部
理工学科 建築・都市環境学系

教授

鳥海 吉弘 氏

建築環境・建築設備に関する研究を行う。

「フィールド調査により製品開発を促進」

現在、新型コロナ対策として換気量の確保が重要であり、設計上の換気量が実際に保たれているか確認することが必要です。そういった中で産学連携の相談を受け、同社が製造する高精度の風量測定装置に興味を持ちました。まず、共同研究を一緒に行っていた東京理科大学の倉渕隆先生の研究室で測定装置の精度を確認。その後の実態調査で、トイレの換気において全体的に設計換気量を下回る結果が見られ、メンテナンスやダクト施工に問題があることが明らかとなりました。中小企業は技術力もあり、小回りも利きます。そこに研究機関からの異なった視点を加えることで、新たな発見にもつながります。アイデアの具現化や製品改良を進める上で、相談窓口を上手く活用していただきたいです。